



討論

ハザードの察知⇒情報の伝達⇒復旧・復興

- 1) 科学技術の成果
+ 行政施策
+ ソフト施策(教育)
- 2) 産官学の連携
- 3) 住民の意向、地域との適合性



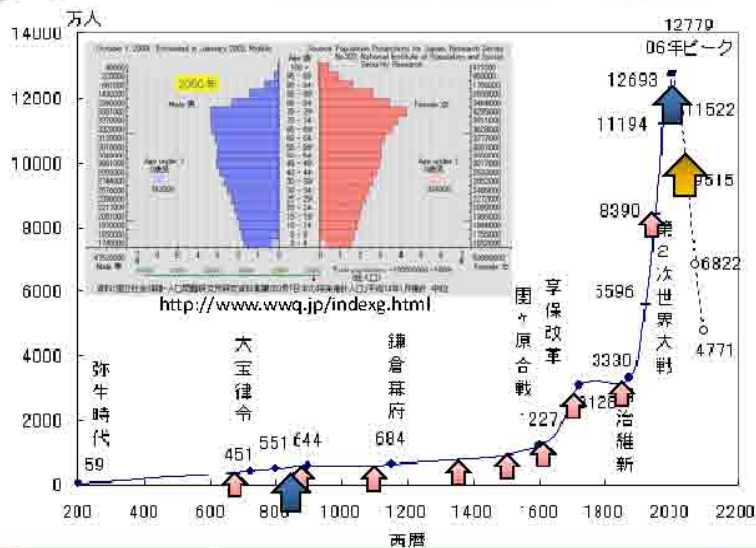
1. 地震・津波の想定のある方について

(1) これまでの地震・津波防災対策では、過去に繰り返し発生し切迫性の高い地震・津波を想定してきた。しかしながら、今般の東北地方太平洋沖地震はこの想定を大きく上回り、甚大な被害を発生させた。今後、地震・津波の想定を行うにあたっては、これまでの考え方を改め、津波堆積物調査などの科学的知見をベースに、あらゆる可能性を考慮した最大クラスの巨大な地震・津波を検討していくべきである。なお、一度想定した地震・津波についても、最新の科学的知見を取り入れて適宜見直すことが不可欠である。

(2) 上記の考え方にに基づき、今後、各地域ごとに地震・津波の想定を検討することとなるが、今回の被災地については、今般の東北地方太平洋沖地震を基本として対策を講じる。



人口変遷と地震の発生



強化地域・推進地域の影響度

